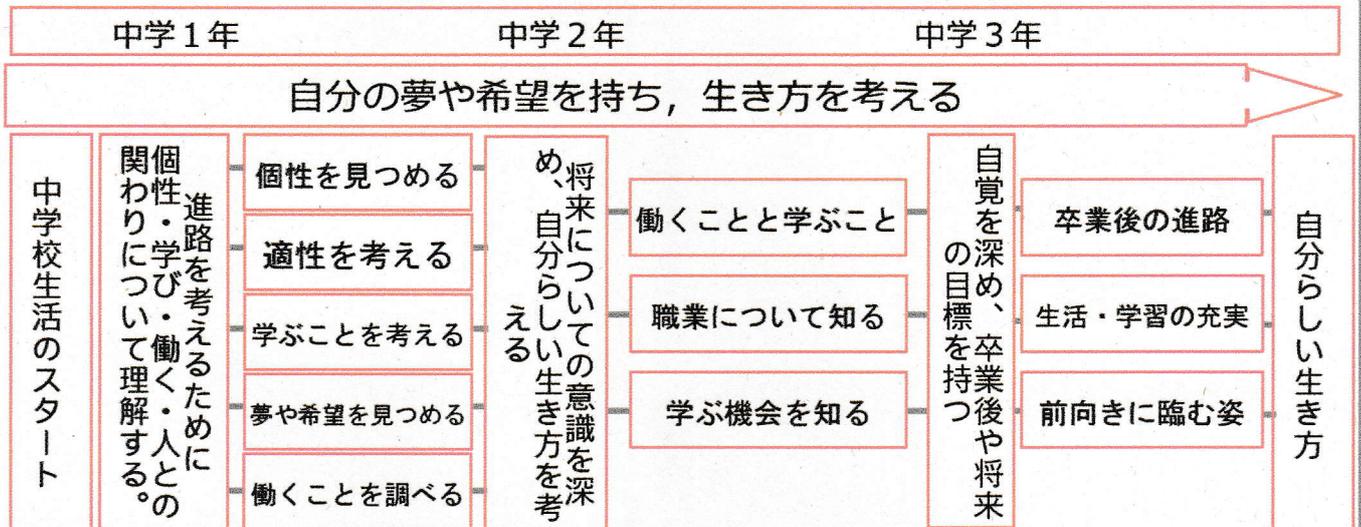


羅金十盤空

「進路学習」の流れ

今回は、一年生から三年生までの「進路学習」の流れを説明します。



(「2015 中学生生活と進路 福島県版 1年」より)

一年生では、自分の進路を考えるために、個性や学ぶこと、働くこと、人との関わりなどについて理解することを学習していきます。

さらに、二年生では将来についての意識を深め、自分らしい生き方を考える時期になります。

最終学年である三年生では、生き方への自覚を深め、中学校卒業後や将来への目標を持つように学んでいきます。

三年間を見通したときにこのように進路学習が進んでいきます。学習の流れがわかっていると、生徒の皆さんも目的意識を持ちやすく、学習効果も上がっていくと思います。

もちろん、一人一人の段階に応じて振り返ったり支援したりアドバイスして参ります。

現代は科学の発達により高度に情報化された時代ですので、「進路」についても変化が大変激しくなっています。

時代の変化に対応するため、受験のシステムであっても毎年調整されたり大きく改革されたりします。

だから、正しい情報を「とらえ」、「理解する」力が生徒にも教師にも保護者の方々にも求められます。

進路を決める上で、危険なのは「又聞き」です。「～さんが大丈夫と言っていた」とか、「～と～さんが聞いてきた。」という不確かな情報は、間違っていることもあります。必ず、自分で資料や情報を確認してください。

進路学習の参考となる資料

図書室にはたくさんの情報が収蔵されています。ぜひ、昼休みや放課後の開館している時間に行ってみましょう。さまざまなことを知ることができます。

どの本を読めば良いかわからない時には、是非、学校司書の遠藤先生に聞いてみましょう！興味にあった本をアドバイスしてくれます。

インターネットを活用した情報収集は、下記のHPをご活用いただくと参考になると思います。

福島県教育委員会 一県立高校入試
アクセス進学ラボ

<http://www.pref.fks.ed.jp/examination.html>
<http://naninaru.net/shingakulab/tekishoku/>